

御前山ビオトープ通信

令和2年12月24日

第58号

発行：御前山ダム環境センター

メール：denen21@ktb.biglobe.ne.jp

ホームページ：<http://www7b.biglobe.ne.jp/~noasobi/>



目次

1. ヤマサクラ植栽予定地の整備
2. ヤマサクラの記念植栽
3. 田んぼの学校
4. 取水口緊急補修活動

【案内図】



1. ヤマザクラ植栽予定地の整備

御前山ダム湖周辺の山桜植栽は毎年恒例の行事となりました。その植栽場所もかなり広がってきて、場所によっては大がかりな事前整備を行う必要もあります。

今年は二又橋付近において6/13～7/17まで計9回にわたり実施しました。

まず会員で雑木を伐採、その後、長山工業(株)で8/27～9/2まで整地工事を実施しました。



2. ヤマザクラ記念植栽 (御前山小学校6年生)

前述のように整備した箇所で11/26(木)午前10時から10時45分まで、御前山小学校6年生により卒業記念の植栽を実施しました。

生徒23名、その保護者4名、先生3名と会員22名が参加しました。

コロナの影響で学校のスケジュールが厳しい中で、少し

の時間だけでも記念になれば・・・と先生が時間を割いて下さいました。

あっという間でしたが参加されていた保護者とその子供は、「家族と一緒にやってくれることが少なくなってきたのでこの植栽は記念になった。折を見て見に来たいと思っています。」と言っていました。

最後に会長から市で刊行している御前山ダムパンフレットを渡して、御前山についてもっと知ってもらおうよう話をしました。

子供達のヤマサクラ植栽



重機による整地



3. 田んぼの学校（御前山小学校

5年生）

毎年5月の御前山小学校5年生による田植えはコロナの影響で中止とし、大人だけで実施しました。

稲は順調に生育し、9月25日（金）に稲刈りを実施することになりました。

当初は子供達も学校行事として参加の予定でしたが、あいにくの

プレゼントされた新米



雨天により大人だけで実施することとなりました。

今年度の5年生は、結局現地での田んぼの学校には参加できませんでしたが10/20(火)に会長が小学校に出向き、5年生の児童一人ひとりに新米1kg(画像参照)をプレゼントしました。(御前山小学校HPでも紹介)

記念植樹集合（6年生）



稲刈り後



4. 取水口緊急補修活動

昨年の10月台風19号は千葉県、茨城県に甚大な被害を及ぼし、御前山ビオトープ周辺も取水口、池法面などが洪水被災して危険な状態となり、昨年11月にNPO共催の緊急活動として、法面保護の蛇籠、取水口下部積石などの緊急対応を行いました。しかし被災直後で、資材の手配も不十分な応急処置にとどまっていた。

その後、地元の御前山ダム環境センターとしては本格復旧を検討していましたが、本年度は突如として新型コロナ禍が発生し、大きな活動は見合わせざるを得ない状況となりました。

そこに、その後の降雨の影響もあり、現場はさらに危険な状況となりました。

そのような事態に対してNPO美しい田園関東支部の有志から緊急対応の提案があり、急遽11月17日（木）に応急対策を実施することになりました。

地元の御前山ダム環境センターで資材や重機を手配し、コロナ対応のソーシャルディスタンスを確保しながら作業を行いました。取水口の基礎部に現場手練りで生コンを打設。小川法面についても蛇籠を据え付け人力作業で礫石を運搬しました。これで直面する危険性は一応回避できました。

取水口の緊急補修



法面保護工蛇籠補修

